

nasa STUDENT CUP 2024

大会要綱

1. 公認大会

JHF、JSFFの公認大会とする。

2. 対象

学生リーグ対象大会である。

3. 参加資格

日本学生フライヤー連盟に所属しており、JHFフライヤー会員登録が有効な者で、JHF HG・B級以上所有者。

4. 参加機体

F.A.I.クラス1に限る。使用機体は原産国の運用限界が明記された物とする。エントリーNo. はセールにテープで張り、遠くからみて分かる色にし、明瞭であることをスタッフが確認する。選手の所持する技能証に応じて、メーカーが推奨するレベルの機体を使用すること。

また、1stClassおよび2nd Classでは、シングルまたはダブルサーフェイスのキングポストのある機体を使用すること。

5. 参加機体の変更

原則として、同機種・同サイズとする。破損により修理不能の機体変更は、競技委員長の判断により他機種・他サイズのものに変更することができる。

変更の際は、書面にて競技委員長に機体変更申請を提出し、機体検査を受けること。

6. 装備

ヘルメット（ハンググライダーに適した、強度のある物）、パラシュート（180日以内にリパックされたもの）、サブライン、ロック付きカラビナを必ず装備すること。無線は、選手が上空周波数の送受信が可能な無線機を用意する。以上を満たしていないものは競技に参加できない。

7. フライトの成立及び大会成立

フライトの成立は各クラスの競技規定に準ずる。選手全員の最低1本のフライト成立で大会成立とする。

8. 順位の決定

ハンググライディング学生リーグの年間競技規定に準拠する。

9. 大会役員の権限

大会中は、大会役員の指示に従わなければならない。競技に支障を来す行為をした選手は、大会役員の判断でその日のフライトを失格或いは大会失格とする場合がある。

10. テイクオフ

ハングメインTOを使用する。

11. ランディング

2nd、1st classで使用できるLDは、ハングメインLDのみとする。Exp classに限り、ハングメインLDに加え、モーパラLD、ショップ横LD、板敷LDの使用も認める。クラスごとに指定されているLD以外の場所へのランディングをアウトランディングとする。

12. フライト失格

飛行禁止空域フライト・空中接触・帰着申告時間内未提出・フライトルール違反の他、危険な飛行と判断される場合そのフライトを失格とする場合がある。

13. 大会失格

危険行為・不正行為・飛行禁止空域内ランディング・大会規定に違反した選手は、大会役員会に諮り大会失格とする場合がある。

14. 雲中飛行

雲中飛行は禁止とされ、競技委員長、ほかの選手により監視される。これは他の選手2名以上からの報告があった場合、雲中飛行をしたものと判断する。雲中飛行を行った選手は、競技委員長の判断により、そのタスクのスコアを減点される。

15. 事故及び損害賠償

大会期間中、万一事故・傷害や損害が生じた場合、大会規定・エアールールに則り本人とその担当教員の責任に於いて速やかに処置し、本部に報告すること。又、主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償などの請求を決して行わないこと。

16. 抗議

抗議申し立ては、トラブル発生後一時間以内に文書で供託金20,000円を添えて競技委員長に提出すること。この供託金は抗議が正当なものと認められた場合、返金される。

17. 公式掲示板

公式掲示板を大会本部及びテイクオフに設置し、当日のフライト内容及び成績などを発表するので、選手は公式掲示板を確認すること。

18. アウトランディング

アウトランディングをした者は、必ずアウトランディング申告を行い、アウトランディング料金として2,000円及び被害に応じた額を支払うこと。

19. ハラスメント規定

日本学生フライヤー連盟ハラスメント規定が適応される。大会期間中のハラスメントの対応判断は大会実行委員長及びその命を受けたものが行う。ハラスメント行為を行った選手は即時大会失格とする。

20. 減点、失格

エアールールにて定められた飛行禁止空域を犯した選手には減点を課す。

1) 丸山風車

風車の支柱を中心にした半径200mのシリンダー(海拔高度は800mまで)に入った者は失格(ゼロスコア)とする。

(風車は2つあるので注意すること)

2) 宇都宮管制圏、福島空港管制圏、霞ヶ浦管制圏、真岡発電所、馬頭工場、渡良瀬遊水地スカイスポーツエリア(土日祝祭日のみ)および FL290(フライトレベル290: 上限29,000FT)の飛行禁止空域

飛行禁止空域に侵入した者は失格(ゼロスコア)とする。

3) それ以外の飛行禁止空域

Sec7A の"6.3 Specific Penalties"に従って規則を定める。

垂直方向、水平方向いずれかで飛行禁止空域に 30m 以上侵入した者は失格(ゼロスコア)とする。

垂直方向については、飛行禁止空域に侵入した距離に応じて減点の度合いが異なる。

(飛行禁止空域の外側 50m から 0m の場合) 0%から 10%まで比例して減点する。

(飛行禁止空域の内側 0m から 30m の場合) 10%から 100%まで比例して減点する。

4) その他

筑波フライトエリアエアスペースルールに準ずる

※CTRの設定は大会ホームページよりCTRをダウンロードし、CTRアラームの設定をすること。

21. ローカルルール

・1stクラスのタスクを下記とする。

2カ所以上、8カ所以下の TO から 5km 以内のターンポイントで設定されたコースを指定回数周回し、回った距離とゴールまでの速度を競う。ターンポイントは基本的には3カ所以上とし、気象条件によりその日ごとに決定する。得点計算方法はExpertクラス競技規定に準ずる。

22.得点計算

- 得点計算は大会より貸し出すライブトラッカーのトラックログを用いて集計する。
ライブトラッカーに不備があった場合のみ個人で記録したフライトログの提出を認める。
- 2ndクラスのテイクオフ時間はライブトラッカーのトラックログで判定する。
ランディング時間は役員による手動計測とする。